第１回　献体遺体を使用した
美容外科　実技講習会

日時：2023 年 1 月 23 日（月曜日）

参加人数の定員となりました
多数のご応募を頂き有難うございました。

場所：東北大学医学系研究科一号館一階 解剖実習室
主催：東北大学
協力：東北大学医学系研究科 器官解剖学分野
東北大学医学系研究科 形成外科学分野
東北大学白菊会
後援：（一般社団法人）日本美容外科学会

TOHOKU UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE SENDAI-JAPAN

一般社団法人 日本美容外科学会 JSAPS
Japan Society of Aesthetic Plastic Surgery

応募要項

東北大学では Thiel 固定を行った献体ご遺体を用いた手術手技実技講習会を開催いたします。
4 名の受講生を募集します。原則見学の募集はありません*。
また、本研修会は参加費をいただき運営しております。ご理解ください。

参加費：3 万円
（宿泊・朝食・夕食は各自でご用意ください）

お振込先：参加決定の通知の後にお送りする申込書類を当方にて受領の後、
東北大学本部よりお振り込み先につきご連絡申し上げます。

その他：ガウン、手術用手袋はこちらで準備いたします
講習会中、講習会後にアンケート調査に協力して頂きます
駐車場の関係で車での参加はできません。

応募資格：日本形成外科学会の専門医資格を持つ者
日本国籍を持つもの

受講者選定法：原則先着順
定員になり次第締めきります

応募方法： e-mail にて件名を[東北大学外科手技実技講習会参加希望]とし、
＜keisei-tohoku@umin.ac.jp＞ まで記事項を記載の上、お送りください。

1． 氏名・氏名（ふりがな）・性別・年齢
2． 希望テーマ
3． 現在の所属病院と電話番号
4． 医学部卒業年度・形成外科専門医取得の有無

注意事項（良くお読みください）

- 受講者選定の後、結果を後日メールにてご連絡いたします。
- 申込書類 3 種を上記メールに添付しお送りいたしますので、記載の上、速やかに当方までご郵送くさい。
- 申込書類を当方にて受領の後、東北大学本部よりお振り込み先につきご連絡申し上げますので速やかにお振り込みください。
- 指定の期限内にお振り込みが無い場合は次点の方に受講する権利が移ります。
- 領収書は参加時にお渡しします。（事前に必要時はご相談ください）

受講生が写真を撮影することは原則禁止です。

献体者に対する尊厳･感謝を損なう行為は厳に慎んでください。
受講者全員に守秘義務・写真撮影に関する誓約書を提出していただきます。

本研修会は御献体して頂く皆様、器官解剖学教室のスタッフ、運営者スタッフの献身に支えられています。今後も継続して行うことができるように、参加者の皆様のご協力をお願いいたします。

本講集会は「臨床医学の教育及び研究における死体解剖のガイドライン-日本外科学会・日本解剖学会」に従って計画され、東北大学医学系研究科 IRB の承認を受けて行われます。また、厚生労働省の**「令和４年度実践的な手術手技向上研修事業」**の一環として行われます。

新型コロナ感染流行下での本研修会参加者への注意・確認事項

東北大学手術手技研修の開催は、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針(BCP)」に則り行います。また感染予防および拡大防止策の一環として参加者の皆様には厚生労働省新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールをお願い致します。感染状況の変化によって、実施指針に則り、講師陣の変更や、規模の縮小、開催中止の可能性があることをご容赦願います。

以下の場合は来場をお控え下さい。

・平熱よりも 1 度以上の熱がある場合
・味覚、嗅覚障害・息苦しさ、強いだるさ、咳、咽頭痛等の体調不良がある場合
・新型コロナウイルス感染症の陽性社と濃厚接触がある場合
・海外から入国し 14 日を経過していない場合
・海外から入国し 14 日を経過していない者と濃厚接触がある場合

実施指針

- 研修は基本的に対面式で行われますので、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の 行動指針(BCP)」 レベル 1 以下の場合に研修の開催が可能です。
  BCP レベル 2 以上になった場合、開催の中止を検討いたします。
  東北大学 BCP レベルは以下の HP より確認できます。
  http://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/campus.html
- 研修実施責任者は、事前に講師・受講者へ入館時の注意事項、参加同意書および問診票の案内を行い、提出を求めます。受講生の皆様におかれましては、速やかな提出をお願いします。

スケジュールおよび募集人数

2022 年 1 月 23 日月曜日 9:00-17:30　受講生４名

講師：牧野　太郎（牧野美容クリニック）

今井　啓道（東北大学　形成外科　教授）

菅原　康志（自治医科大学　形成外科　客員教授）

田牧　聡志（ティーズクリニック　医院長）

- 本年度も献体の準備など全面的支援をして下っている器官解剖学分野の要請で平日の開催になっております。ご理解をお願いします。

Syllabus

Seminar on Aesthetic Plastic Surgery

2023/1/23

目的 ：　形成外科の中で特に美容外科領域は、日進月歩で常に先進性が求められ最新技術が導入され発展している。また美容外科が扱う顔面という部位は複雑な解剖学的構造を有する部位であり、その手技の一つ一つに繊細で高度な技術が必要とされる。一方でこの分野は On-the-Job Training (OJT)の機会自体が少ない上、手技の複雑化や技術伝達の困難さがあり手技の教育には困難を生じていた。このプログラムでは、形成外科専門医を対象とし、美容外科医として扱う頻度の高い手術手技を実習することで、参加者が手技を取得し精通できることを目標とする。1 献体に 2 人の受講者とする。

（担当講師：牧野太郎、今井啓道、菅原康志、田牧聡志、使用遺体数　3 体（内 1 体はデモ用），座学及び実習）

それぞれのコースについての座学を10分程度行った後、実習を行う。

9:00 – 11:00

フェイスリフト、ネックリフト（担当講師：牧野、今井、菅原、田牧）

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は2人一組となり術者と助手に別れ、左右交互に行う。

片側ずつ交互に**フェイスリフト、ネックリフトの**実習を行う

SMAS、顔面神経などの解剖を確認しながら手技の習得を目指す。

11:00 – 12:00

下眼瞼形成（ハムラ法）（担当講師：牧野、今井、菅原、田牧）

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は2人一組となり術者と助手に別れ、左右交互に行う。

ハムラ法における眼窩隔膜、眼窩脂肪の扱いに習熟し、術後合併症を起こさない手技の工夫について習得する。

12:00-13:00 昼食

13:00 - 14:30

頬骨縮小術（担当講師：牧野、今井、菅原、田牧）

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は2人一組となり術者と助手に別れ、左右交互に行う。

耳前部切開と口腔前庭切開から頬骨へアプローチし、L字型の頬骨縮小術手技の習得を目指す。

14:30 - 16:00

下顎角形成・オトガイ形成術（担当講師：牧野、今井、菅原、田牧）

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は2人一組となり術者と助手に別れ、左右交互に行う（オトガイ形成術に関してはどちらか一方の術者のみ)。

後口腔前庭切開、下口唇前庭切開から下顎骨へアプローチし、下顎角部から下顎下縁の骨切除を行い、オトガイ形成術を行い手技の習得を目指す。

16:00 - 17:30

Preservation rhinoplasty（担当講師：牧野、今井、菅原、田牧）

献体の顔面を上に向けた状態で固定し実習を行う。

受講者は 2 人一組となり実習を行う。

どちらか一方が術者となりオープンアプローチから Subpericondrial dissection を行い、high septal strip、鼻骨骨切りを行い let down/push down を行い一連の手技の習得を目指す。